

# 峰のひかり

発行人

社会福祉法人 **七峰会**

理事長 **大平 和夫**

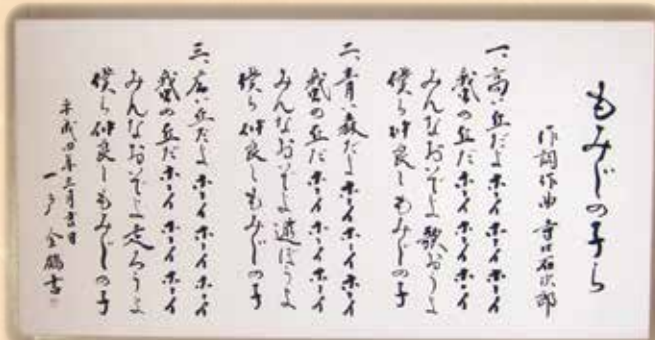
〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

## もみじ学園 52年の歴史に幕



もみじ学園総合施設長 羽賀 章

当園は利用者の皆様が安心してご利用いただくことを第一に、一人ひとりの要望や状況を把握し、それらを反映した支援の提供に努めてまいりました。3月に最後の児童が高等部を卒業となることから、令和5年3月31日をもって閉園することになりました。

昭和45年に精神薄弱児施設として定員50名で開設。平成20年には青森県で初の障害児・者併設型施設として障害者支援施設を開設し、定員を障害児入所施設は20名、障害者支援

施設は入所10名、生活介護20名となり通所事業も開始しました。また、平成31年には、「南黒地方福祉事務組合」から「社会福祉法人 七峰会」に事業運営が移譲されました。開設以来、四季折々の素晴らしい環境の中で充実した時間を過ごしてこられたのも、ひとえに皆様が子供たちの成長を見守り、温かいご支援とご協力のおかげです。子供たちは親元を離れて生活しており、週末になると帰宅する時の笑顔や希望に満ち溢れて退園していく姿が思い出されます。

ここ10年来、入所児童の減少によ

りこれまで地域と共に歩んできた52年間に終止符を打つことは寂しい限りです。巣立っていった232名の卒園児と先輩職員が築いてこられた歴史は、園歌「もみじの子ら」、健やかな日々、朗らかな日々は確かな形として、それぞれの胸の中に残ります。最後になりましたが、利用者様とご家族の皆様のご多幸とご健勝を祈念すると共に、地域の皆様をはじめとする全ての関係者の方々に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

# 新年を迎えて

## グループホーム新年会

拓光園共同生活援助事業所アパソ  
サービス管理責任者 工藤 亜紀

拓光園にはグリーンヒルと賀田住宅A、B、C棟のグループホームがあります。1月21日、28日に各棟で新年会を行いました。皆さんで美味しい食事を囲みながら新年年度の目標などについて話し合い「今年はいっぱい出掛けたい」「温泉にいきたい」「健康に暮らす」等様々な目標が出てきました。食事の後はお待ちかねの千本引き大会です。皆さんお目当ての景品が当たると喜んでいました。今年度は新型コロナウイルスが蔓延したため、外出を延期したりしました。来年度は感染対策を行いながら、皆で地域との関わりを持ち暮らしていきたいと思えます。



## 今年の運勢は…

障害者支援施設山郷館くろいし 木村 恵実

山郷館くろいしでは1月12日に新年会を行いました。昼食に握り寿司とお汁粉を食べ、職員が神主と巫女に扮し、利用者さんにおみくじを引いてもらいました。おみくじの内容に嬉々としながらそれぞれ枝に結び、今年1年のお願いをしました。



## 令和5年交流会デイサービスセンター弘前、ど・れ・み

デイサービスセンター弘前 管理者 武藤 団一郎

令和5年最初の行事として、2事業所で新年交流会を開催しました。今年度は利用者の皆さんでどれみ神社を手作りし、初詣をしました。鳥居の前で一礼、手を清め、鈴を鳴らし、お賽銭を入れ、二礼・二拍手・一礼…心を込めて、新年のお参りです。中には「久しぶりの初詣だ」と話される利用者さんもいらっしゃいました。昼食は毎年恒例のお正月メニューを提供し、皆さん楽しんで頂くことができました。



## もちつき、大成功！

児童発達支援センターはあと 保育士 金枝都美子

今年も年明け早々、もちつきを行いました。毎年恒例の行事となり、スタツフの段取りも良く、上手にお餅をつけるようになってきました。また、放課後等デイサービスのお子さんの中には、一人で杵を持って、力自慢の大会にもなりました。つきたてのお餅は温かくて柔らかく、子ども達は手でお餅を触りながら「あったかいね」「粉をつけると手にくっつかないよ」など話し、お餅を五感で感じながら丸めていました。最後はお好みの味付けで美味しくいただきました。



# シリーズ「かだる」

住宅型有料老人ホーム「わかば」 管理 太田 美香



私は日々の業務で高齢者の方に季節感を意識してもらおう事はとても大切なことだと考えています。ホーム内で過ごす利用者さまにどのような楽しさや生きがいを感じてもらえるか、夕食メニューに「食後にアイスはどう?」、ホー

ム内の飾りつけに「玄関に生花を飾るのは?」、余暇の時間には「どんなゲームをしようか?」など会話しながら様々なアイデアを出し合っています。食事、玄関装飾、お楽しみ会等を通して利用者さまが興味関心を持ち、会話の中で話題となり、季節感を意識してもらえることで充実した時間を過ごせるのではないのでしょうか。そんな利用者さまの笑顔をみて、私も嬉しくなります。



## 利用者さん紹介

山郷館デイサービスセンターくれよん

管理者 外崎 理香

くれよんでは余暇活動の一つとして毎月書道教室を開催しています。今回「第37回障害者による書道・写真全国コンテスト」に応募し848点の中からたった10名しか選ばれない「金賞」を受賞したのが、藤田さやかさんです！さやかさんは開催当初から参加しており、今でもマイ道具持参で毎回新



と更なる高みを目指しています。



たな作品に挑戦しています。今回の受賞は、くれよんの利用者さま、職員みんなの喜びと誇りですが、当のさやかさんは「まだまだです。これからもっともっと入賞を重ねられるよう頑張ります！」

## おらほのメニュー



ご当地メニューで提供したマーボー焼きそば



### 食へる楽しみを大切に

障害者支援施設青葉寮 管理栄養士 小田桐佳苗

遠くまでの外出や外食が難しい状況が続く中で、施設での食事を少しでも楽しんで頂くことができるように、いろいろな食材・メニューを提供するように心がけています。

日々、利用者さんとの会話を通して、好きな食べ物や食べたい料理を確認しながら、給食で出すことを検討しています。先日、グラタンやオムライスを提供した際に大変喜んで頂きました。

行事食や、定期的に実施している「ご当地メニュー」の献立は、事前に廊下に告知のポスターを掲示しています。ポスターを何度も見に来たり、利用者さん同士でメニューに関する会話をしたりなど、当日までの時間も楽しみに過ごされています。次回は、北海道のご当地メニューの企画しております。

## 北部圏域合同意見交換会

弘前市北部地域包括支援センター

センター長 對馬 洋樹



地域関係者とのネットワーク強化と情報交換を目的として、令和5年1月19日(木)に北部圏域(高杉地区、船沢地区、新和地区、裾野地区)の町会長や民生委員、地区社協会長、出張所などの地域関係者との意見交換会を開催しました。



今回の会議においては、令和4年8月に発生した水害に関する意見交換を行いました。この水害を通じて、それぞれの立場で感じた課題とその解決策についての話し合いを行い、地域課題に関する情報共有とネットワーク強化を図ることができました。

# 内部研修委員会

障害者支援施設旭光園

サービス管理責任者 船水 玲

旭光園では、職員のスキル向上を目的に内部研修委員会を立ち上げました。活動内容としては、内部研修のコーディネートと外部研修の情報収集を行い、随時職員へ情報提供と研修参加を促していく事としています。内部研修では、1つの課題に3名程度が講師を務め、調べた内容を職員へ発表する形とし、今回は、内部研修について講師を務めた職員からお話を伺いました。

## 質問内容

- ① 今回の課題について大変だった事は。
- ② 調べるために何か参考にしましたか。
- ③ 実際に講師をしてみて良かった事、改善点がありますか。
- ④ 職員へは上手く伝わりましたか。

## 課題「メンタルヘルスについて」

職業指導員 中野 大輔

① 慎重に扱うべき、重要なテーマだったため、チームでの意識共有とポジティブな結論に導くための構成づくりが大変でした。



- ② 厚生労働省が運営するポータルサイト「こころの耳」が参考になりました。それ以外はメンバーそれぞれが調べて持ち寄りしました。
- ③ 一緒に働く仲間のこと、お互いの仕事のことを考えるキッカケづくり、チームワークを高めることを目的に実施し、「伝える」ことの難しさを肌で感じる事が出来た。
- ④ 実体験エピソードを交えて行い、分かり易かったとの意見も聞かれました。所感からは概ね伝わったように感じました。発表方法や座席の組み方を内容によって変えることの大事さも学びました。

## 課題「口腔ケアについて」

生活支援員 小田桐 肇

- ① 勤務状況により、チームで話し合う時間が限られていたため、まとめるのに大変だった。
- ② 主にインターネットから情報を集め、資料作成をしました。
- ③ 自ら情報を集め発表まで実行した事で、知識が身に付きました。
- ④ 上手く伝わったかは分からないが、利用者さまのうがい歯磨きは以前より良くなったので支援に繋がっていると思う。

研修委員会メンバーが積極的に職員のスキル向上のために活動しており、講師をする側、研修を受ける側ともに成長出来ています。

各施設グループのホームページでも情報発信中!

**編集後記** 記録的な大雪となった冬も終わりを迎え、日に日に春めいてまいりました。春からは新型コロナウイルスの扱ひも大きく変化すると報道されており、社会全体が大きく変動する一年になるものと思います。社会の変化にも柔軟に対応できるよう各事業所取り組んでまいります。

障害者支援施設旭光園 狩野 伸之

委託事業	障がい者支援	高齢者介護	相談
<p>青森県指定 津軽障害者就業 生活支援センター ☎4524</p> <p>弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター ☎2400</p> <p>弘前市委託事業 弘前市北部地域包括支援センター ☎2100</p> <p>弘前市委託事業 山形県地域高齢者支援センターくればん ☎9040</p> <p>山形県委託事業 山形県サポーターセンターくればん ☎5018</p>	<p>主に知的・精神</p> <p>旭光園グループ 拓光園グループ ☎2663-1</p> <p>拓心館グループ 障がい者総合支援センター拓心館 ☎4520</p> <p>津軽生活支援センター ☎4520</p> <p>就労サポートセンター ☎5770</p> <p>自立訓練事業「通勤寮拓心館」 ☎4520</p> <p>児童発達支援センターはまこ ☎5780</p> <p>エイブル ☎9060</p> <p>青葉もみじグループ 障害者支援施設青葉寮 ☎8231</p> <p>障害者入所施設もみじ学園 ☎8232</p> <p>障害者支援施設もみじ学園 ☎8232</p>	<p>主に身体・精神</p> <p>旭光園グループ ☎5155</p> <p>山郷館弘前グループ 山郷館山郷 ☎2211</p> <p>山郷館山郷サレビスセンター ☎5546</p> <p>山郷館アイサリスセンター弘前 ☎7300</p> <p>山郷館訪問介護センター ☎7357</p> <p>山郷館アイサリスセンターくればん ☎9040</p> <p>山郷館黒石グループ 障害者支援施設山郷館くろいし ☎3070</p> <p>山郷館総合支援センター黒石 ☎5018</p> <p>山郷館くろいし共同生活援助 ☎2334</p> <p>児童発達支援センター花りんこ ☎9345</p>	<p>サンアップル 居宅介護支援センター ☎2131</p> <p>七峰会総合福祉 相談支援センターヒリーフ ☎5740</p> <p>旭光園相談支援事業所 ☎5155</p> <p>山郷館サポートセンターくればん ☎5018</p> <p>サンアップルホームグループ 特別養護老人ホームサンアップルホーム ☎2111</p> <p>サンアップルホームケアセンター ☎2131</p> <p>サンアップルヘルパーセンター ☎3758</p> <p>認知症グループホームアツル ☎2778</p> <p>認知症グループホームわかば ☎1176</p> <p>デイサービスセンターわかば ☎1165</p> <p>看護相談センターサンアップル ☎5330</p> <p>住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎1888</p>